

2024年度学生フォーミュラ日本大会
各WGのアンケート集計結果と2025年度の対策

2024/12/23



～アンケート結果とその対策について～

学生フォーミュラ日本大会2024にご参加をいただきましてありがとうございました。
18年ぶりに会場を変えての開催となりましたが、課題もある大会となりました。
皆様から収集したアンケート結果に関して、実行組織で考えている対策を共有できたらと思い
この資料公開に至りました。

今後とも皆様の活躍を期待しております。

また、より良い大会を作り上げていけるよう、今後ともよろしく願いいたします。

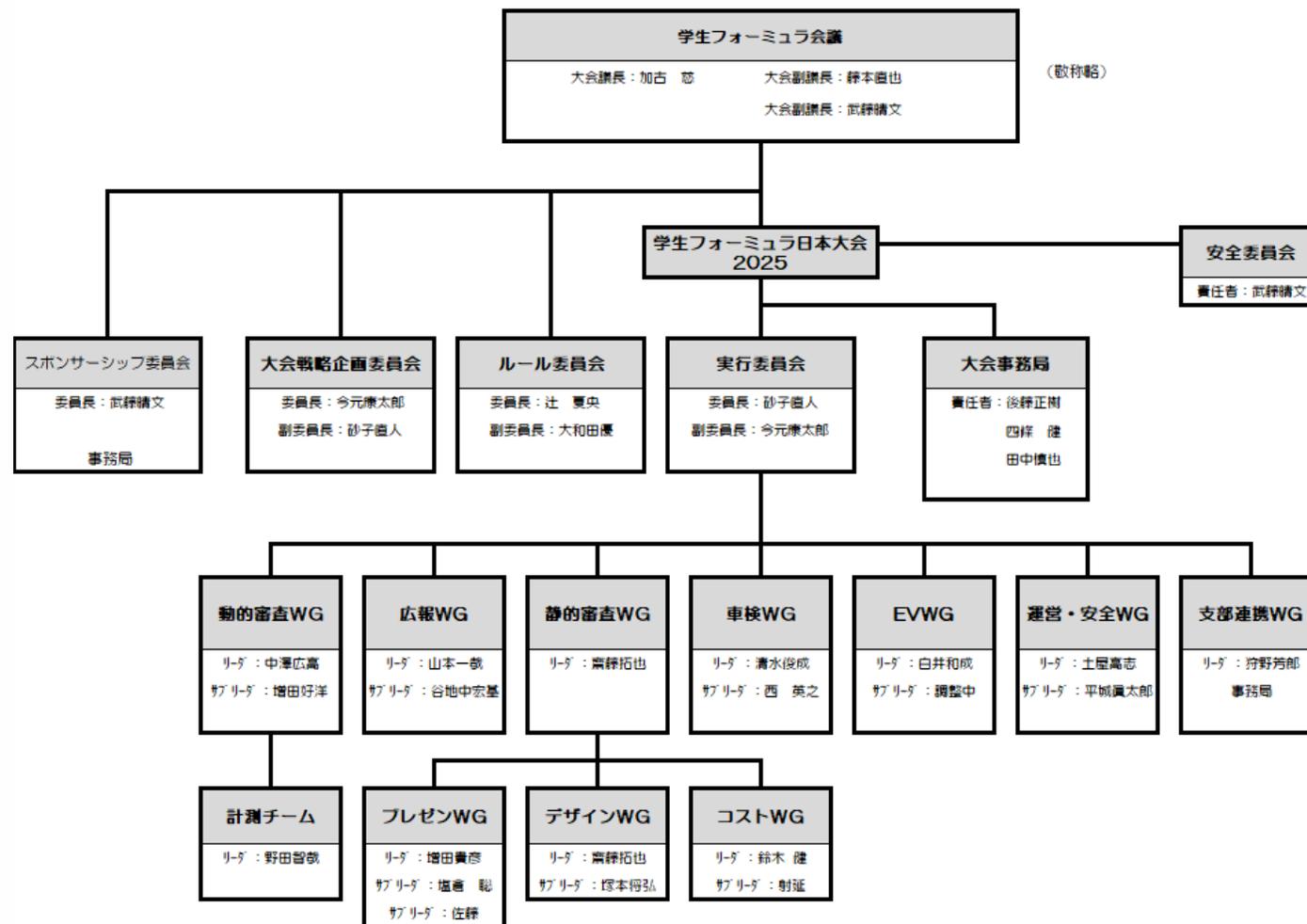
2025年度 学生フォーミュラ実行委員会委員長 砂子 直人



2024年度大会各WGのアンケート集計結果

- ①車検WG
- ②動的審査WG
- ③静的審査WG
- ④静的審査 デザインWG
- ⑤静的審査 プレゼンWG
- ⑥静的審査 コストWG
- ⑦EVWG
- ⑧運営・安全WG
- ⑨広報WG

第23回 学生フォーミュラ日本大会2025運営組織図案（年間運営）



①車検WG

2024年振り返りに対する2025年対応（①車検WG）

1) チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	運営面	16	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内のため避暑の観点で良かった。 ・車検の対応がスムーズだった ・車検員の皆さん、大変協力的で良かった ・点検項目をチェックする順番に自由度があったことが良かった。一つの項目で詰まって時間が足りなくなると言うことも無かった。 	前年事項を継続
	審査基準	3	<ul style="list-style-type: none"> ・安全重視を基本としてジャッジが安定してきた ・車検にてご指摘頂いた事項はどれももっともなことばかりで、レギュレーションの理解の仕方を学びました。 ・指摘項目以外に安全面で懸念される箇所があった場合、アドバイスをくれた点 	前年事項を継続
X指摘/要望	運営面	10	<ul style="list-style-type: none"> ・EV車検合格しても、技術車検を丸一日待機させられた ・審査時間にルーズ(車検時間オーバー) ・クイック車検員不足 ・車検の直前に車検シートを交換するのはやめてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年はEV/ICV合わせた車検オーダーのため、EVチームの待機があったのはやむを得なかった。2025年はEV/ICVを分けた車検オーダーとなるため改善見込みあり。 ・審査時間遵守を車検員に徹底する ・車検スタッフの柔軟な配置による出張車検運営
	審査内容	15	<ul style="list-style-type: none"> ・車検ブースによって指摘の厳しさが異なる ・同一車検員の方であっても都度指摘内容が異なる ・車検員のルール理解不足 ・車検シートに無い項目の指摘 	<ul style="list-style-type: none"> ・車検員の審査スキル向上のための講習会を拡充し、各車検員のレベルアップと判断基準の平滑化を推進 ・車検講習会資料にて、車検の目的や指摘の根拠を改めて明文化。ルールに準拠した審査基準に基づき、車検シートに無い項目も指摘していることを理解してもらう。
	EVへの理解	4	<ul style="list-style-type: none"> ・技術車検員のEVに対しての理解が低い ・ドライバー脱出テストにおいて他のEVチームがTSまるであってくださいと指示を受けた 	<ul style="list-style-type: none"> ・EV車脱出テスト時の審査手順をEV目線で再定義し明確化する

- ・チルト・脱出の待機混雑時に、周辺エリアで車両移動が困難になった
→審査ブースの再配置、混雑を回避する動線の検討

②動的審査WG

2024年振り返りに対する2025年対応（②動的審査WG）

1) チームアンケートより（運営面）

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	運営面	10	誘導がしっかりとされていて混乱なく審査を受けることができた	継続
X指摘/要望	スケジュール	18	オートクロスのセカンドドライバーが走れないチームが多数	走行枠の空きがあるAMに誘導 走行時間の延長+30分の検討 (AUT/END終了時間 17:30)
	フラッグ運用	7	ドライバーが見やすい位置で振ってほしい。コーナー手前ではドライバーが見落としやすく危険。	フラッグ呈示のポスト位置の見直し P1フラッグはスラローム出口から振っているドライバーの不注意が原因と思われる コースウォークでのポスト位置確認の徹底
	観覧エリア	6	走行している車両が見にくかった。特に小さな子供は見えないと思った。	観覧席（スタンド）設置を検討
	路面干渉	5	エアロパーツの路面干渉には、より明確な基準があると良いと感じた。	方法を引き続き検討
	レイアウト	1	給油エリアや騒音試験場がダイナミックエリア外にあることがやや危ないようには感じた。 ブレーキ、暖気、プラクティスについて、Dパスをもっていないメンバーが、もう少し近くに近づけるようにしていただき	ダイナミックエリア（ブレーキ、暖気、プラクティス）のレイアウト変更を検討
その他	通訳	1	any announcements to always be made available and announced clearly in English as well.	継続
	出走方法	6	来年、EVとICVが分かれた時の動的種目の出走方法が気になります。	ACC/SKD/AUT：混走、 END：クラス分け出走の予定

2024年振り返りに対する2025年対応（②動的審査WG）

1)チームアンケートより（コース面）

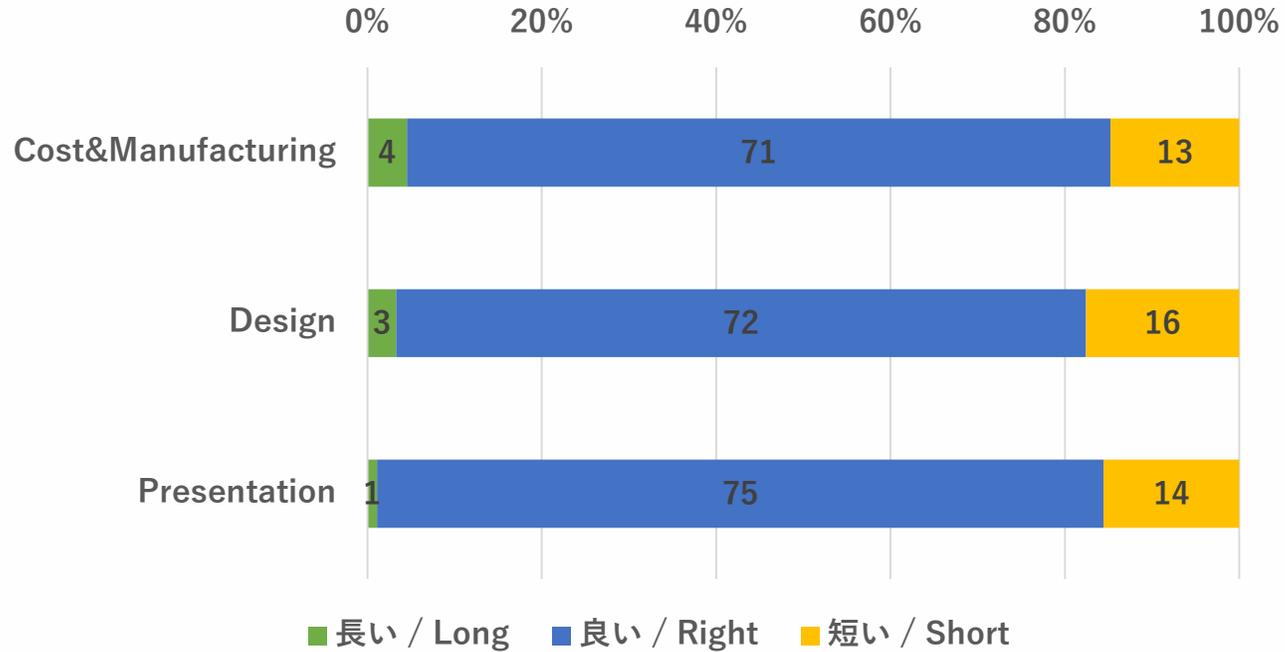
分類	回答数	内容抜粋	2025年方向性
コース変更	8	昨年までに比べて、車両の総合的な運動性能と耐久性が一層求められるコースになった	継続
コース変更	13	路面の起伏が激しく、多くの車両が路面干渉を起こしていた。	方法を引き続き検討
		時間割をこのままにするならコースを少し短くした方が良いと思う。	FSAEルール準拠でコースは短くできない 走行時間の延長+30分の検討
フラッグ位置	4	チェッカーフラッグ等を掲示するポストが見えにくいようです。	フラッグ提示のポスト位置の見直し P1フラッグはスラロム出口から振っているのでドライバーの不注意が原因と思われる コースウォークでのポスト位置確認の徹底
スケジュール	2	axにおける2nd driver出走のために炎天下で2時間以上待機したものの出走は叶わなかった	走行枠の空きがあるAMに誘導 走行時間の延長+30分の検討
観覧エリア	2	観覧エリアからのコースの眺めたあまりよくなかったように思います。	観覧席（スタンド）設置を検討
EV車両	2	EV始動時にプリチャージを待たず車両を誘導する指示をしており、EV発進に対する周知が少々不十分に感じた。	スタッフ資料には記載して周知しているが、今一度 スタッフ訓練時に徹底する スタッフ訓練内容の充実（訓練時間の延長）

③ 静的审查WG

2024年振り返りに対する2025年対応 (③静的審査WG)

1) チームアンケートより

静的3審査の時間は長かったか短かったか



→将来的には、審査時間の延長を図りたい。
但し、2025年大会については
現地審査の実現を優先事項とし、
60min/チームの“サイクル”での審査を検討する。

④静的審査 デザインWG

2024年振り返りに対する2025年対応（④静的審査 デザインWG）

1) チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	デザインフリートーク	12	現地大会期間中にオンラインで審査員を務められた方から直接アドバイスを受けることができたので、大変勉強になった。	2025年現地審査でもフリートークを開催します。希望チームの申込制とし、動的開催中に1h/チーム・回で設定。（2019年以前と同じ方式）
X指摘/要望	デザインファイナル	7	デザインファイナルはスクリーンで見やすかったが、後ろの方で聞いているとあまり何を言っているか分かりにくかった	ASEでのデザインファイナルの環境は見直す必要がある認識。ステージ化、スピーカーの種類と位置、周りのブースの音、観客席等。但し、ICV/EV別クラス化となる2025に限ってはクローズ開催として後日Youtube配信とする等、運営、スケジュールを優先することも検討したい。
	オンライン審査	6	デザイン審査は特に現地で実車を見ていただき学生と直に話しをしながら審査していただくことが必須と考えます。	審査側も全くの同意見です。2025大会からは現地・現物の審査を行うことを最優先とします。
	審査内容	2	It will be better if there is a clear explanation on how the design review will be carried out.	The points below will be written in the FSAEJ2025 Local Rule. ・ Discussion scopes for each judge ・ Procedures of Design Final
	通訳	1	it's difficult to communicate according to language barrier, leading to loss in information, misunderstandings and misalignment.	Some FSAEJ2024 judges said, "I would like to discuss in English", "I will study English". Current judges to improve English skills and also, we would like to increase English speaking judges.
その他		8	一人で複数担当を持っている場合があるため、ブレイクアウトセッションで対応できない場合があった。	デザイン審査では「担当者しかわかりません」を良しとしていません。チームとして、やってきたこと、自分たちのマシンについて、工学的知識等が共有されているようにしてください。これはデザイン審査の準備だけでなく、エンジニアとしての皆さんの力となるプロセスです。

2) 審査員振り返りより

- ・ 海外チームの審査を通して英語を頑張りたい！
- ・ 屋内で車両を見れ、学生と話せる環境は凄く良かった。

⑤ 静的審査 プレゼンWG

2024年振り返りに対する2025年対応（⑤静的審査 プレゼン）

1) チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	フィードバック	9	フィードバックがあり、採点基準を明確に知ることが出来た	前年事項を継続
	現地審査	8	審査員の方の顔を対面のため見ることが出来、反応が分かりやすかった	前年事項を継続
X指摘/要望	発表機材	21	機材の用意が無いことや部屋の環境等を事前に知る機会が欲しかったと感じる。	SAEルールには、『発表に必要な機材は自分で用意すること』、と記載あり、このルールは踏襲。 (=機材は用意しない) しかし、会場インフラについてはハンドブックに記載して情報を開示する。
	審査内容	3	コスト審査の締切をSPDよりも早めてほしいです	この順番は変えない、車両開発プロセスを踏襲する
	審査スケジュール	2	フィードバックの時間がもう少し欲しいと感じました。質問したいことは多く、すべてを聞くことはできなかった。	FB時間検討する
その他		3	SPDの利益計算の欄が、指定の11ポイントでは収まらないサイズである。	SPD書式を改定する

⑥静的審査 コストWG

2024年振り返りに対する2025年対応（⑥静的審査 コストと製造審査WG）

1) チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	審査内容	6	セクションを複数に分け、同時にフィードバックを行える形式だったことが効率的で良かった。	現地審査になるので、どのようにフィードバックをするか、検討中。
X指摘/要望		10	一人で複数担当を持っている場合があるため、ブレイクアウトセッションで対応できない。	
X指摘/要望	審査内容全般	5	コストレポートの審査基準がわかりにくい。	ペナルティは、ルールに従って付けていますので、ルールをよく理解して下さい。 加点は、部品図と工程図の出来映えで付けています。
X指摘/要望	審査スケジュール	5	30分間でのコスト審査では、フィードバックとリアルケースシナリオの発表が終わらなかったのが、短かった。	現地審査になることも考慮し、審査時間は少し延長する予定です。 チームの皆さんも、リアルケースの発表は、5分で終わるよう心掛けて下さい。
その他		7	現地で実車を見ていただきながらの審査が良い。	2024年は、Cost Audit対象チームのみ現地審査でしたが、2025年は全てのチームが現地審査になるので、全チーム実車を見ながらの審査に戻ります。

⑦ EVWG

2024年振り返りに対する2025年対応 (⑦EVWG)

1) チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	ESF	1	ESF合格チームに、車検前にEM配布するのは良かった。	継続する
	電気車検	3	車検スロットが増えてスムーズに車検が出来た スロットの空きが一目瞭然で判り易かった	継続する
X指摘/要望	電気車検	1	スロット数が増えたので、2日目以降機械車検スロットに転用しても良いのではないか？	転用前提で機械車検WGと相談する
その他	電気車検全体		<p>Good、Excellent!</p> <p>非常に親切にしてください、メンバー一同非常に励みになった 車検参加メンバー以外の見学も許可になったため、次年度に向けての勉強として多くのメンバーに観戦、指摘事項の確認を行わせることが出来た 親切丁寧に対応していただいたき、来年に対するモチベーションに繋がった。</p> <p>During the inspection process, inspectors were willing to communicate with students.</p>	25年大会も、学生達とコミュニケーションをしっかりととり、学生と一緒に大会を盛り上げ、愉しむ

⑧ 運営・安全WG

2024年振り返りに対する2025年対応（⑧運営安全WG：ガイドツアー・搬入出・連絡方法・）

1)チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	Slack	12	Slackでの公式発表は、メンバーの誰かが気づいて行動に移せる点で良かったと思います。	25年大会は重要度によって項目分け（メンション）を使い、より分かり易くしてゆく予定
	搬入出方法	9	車両搬入搬出につきましては、炎天下で丁寧なご案内を頂けたことで、迷うこともなく円滑に進めることができました。	学生の搬入出については外部警備員を増やしてより安全・安心な対応を実施する予定。
X指摘/要望	Slack	9	メンションを利用してほしい、重要なものとそれ以外のものチャンネルを分けてほしい。	25年大会は重要度によって項目分け（メンション）を使い、より分かり易くしてゆく予定
	コロナ対応	4	3日目のコロナ対応など、Slackを使えば、安易に共有可能な情報を緊急招集という形で集める必要もないと感じました。	コロナ対応については、Slackを使用し可能な限り面着での対応を減らしてゆく努力をおこないます。
その他		9	I would like the files to be released according to the initial deadlines.	25年度はできるだけ早めにファイルをリリースします。
			搬入時にピットパスを身につけずに作業している人員が多く見られた。	搬入時作業についてはピットエリア内に多くに人員を配置して注意がゆき届くようにします。

2024年振り返りに対する2025年対応（⑧運営安全WG：レイアウト）

1) チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	ピットレイアウト	25	ピットが広くとても快適でした。	25年は静的審査会場化および受け入れチーム数増加に伴い、若干ピット面積は減少となります。
X指摘/要望	Dエリア内レイアウト	11	暖気エリアとプラクティスエリアの動線が非常に狭く、通行に苦労した。 ダイナミックエリアへ上る道も種目等で分けた際にかなり狭かった。 プラクティスエリアをもう少し広くとってほしかった。	25年度大会ではDエリア面積を拡大して通路を広くします。 プラクティスエリアの面積については検討項目として残します。
	ホール内動線	8	技術車検入口が混雑していた。ドライバー脱出エリアの行列で道がふさがっていた	車検エリアの入り口および脱出エリアの混雑については位置を変更して対応します。
	観覧エリア	4	車検エリア(暖気や騒音テスト、ブレーキテスト)も観客が観戦できるようにすべきであると考える。	観覧エリアとダイナミックエリアの関係は背反条件なので検討項目として残します。
その他	照明関係		会場の照明が暗かったです。	各チームに電源を引いているので、チーム対応をお願いします。
			We hope that the shipping instructions for overseas teams can be clearer next time.	可能な限り明確にしてゆきます。（荷重制限をオーバーしたコンテナ等への対応）

2) 審査員振り返りより

ピットはおおむね好評であったが、審査作業場所によっては暗い場所があったので、25年度に対応する。
総合受付の位置がわかりにくかったので、25年大会は場所を変更する。
作業テントへの机・バイスの設置を検討

2024年振り返りに対する2025年対応（⑧運営安全WG：熱中症対策）

1) チームアンケートより

分類		回答数	内容抜粋	2025年方向性
○賛同	屋内ピット	28	屋内ピットのおかげで、熱中症の危険を感じることは減ったと思います。	25年度も継続します。
	ドライバーへのドリンク配布	8	P0(ステージエリア)ではドリンク配布や声掛けを積極的に行っていたが、メンバーの体調管理ができてとても良かった。	24年度は熱中症防止のためP0で飲料配布しましたが、メンバーの体調管理の基本はチームマターと考えています。
X指摘/要望	冷房温度調整&屋外との温度差	9	一時的に冷房が止まることもあり、そのような時よりも暑かったです。 ドライバーは屋内外での気温差がつかったようです。	25年度大会は温度管理をより精密に実施します。 メンバーの体調管理の基本はチームマターと考えています。 (早めに外気温に慣らす)
その他		6	Dエリアにプールを配置しているのはありがたかった。	防火プールと兼用であったが、使用されているようなので25年大会でも準備します。

⑨ 広報WG

2024年振り返りに対する2025年対応（⑨広報WG）

1) 来場者アンケートより

	分類	内容要約	2025年方向性
来場きっかけ	△	・一般来場者の9割がOB・OG、あるいはスポンサー企業関係者 ・名鉄/コンビニ/SAでの広告を見て来場した人は皆無、一方SNS(X)を力を仰ぐ 見て来場した人は一定数いた	事前告知はSNSを中心に展開、スポンサー企業の公式SNSも活用できるよう協

2) スポンサー対応(アンケート結果より)

	分類	内容要約	2025年方向性
WEB交流ミーティング		夏季インターシップ申込み前に開催でき、概ね好評	実施タイミング、内容は2024を踏襲 運営方法は要検討

<2025年の方針>

基本は2024年大会を踏襲し、改善点は見直す